

経営比較分析表（平成30年度決算）

石川県七尾市 公立能登総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	ド透I未訓ガ	救臨感へ災
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
52,940	38,640	非該当	7：1	

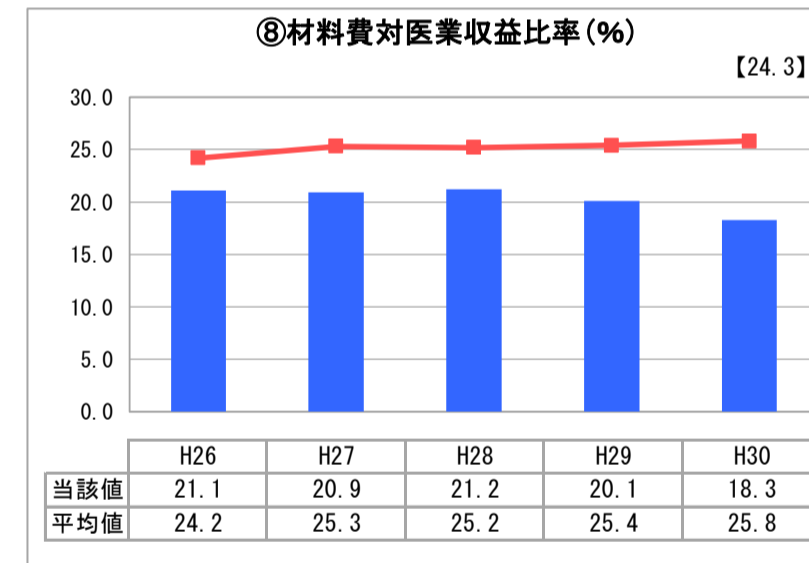
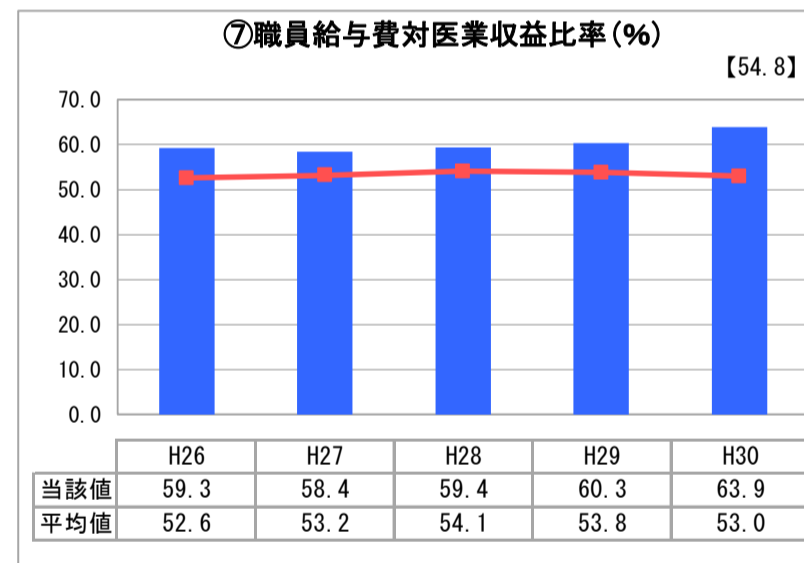
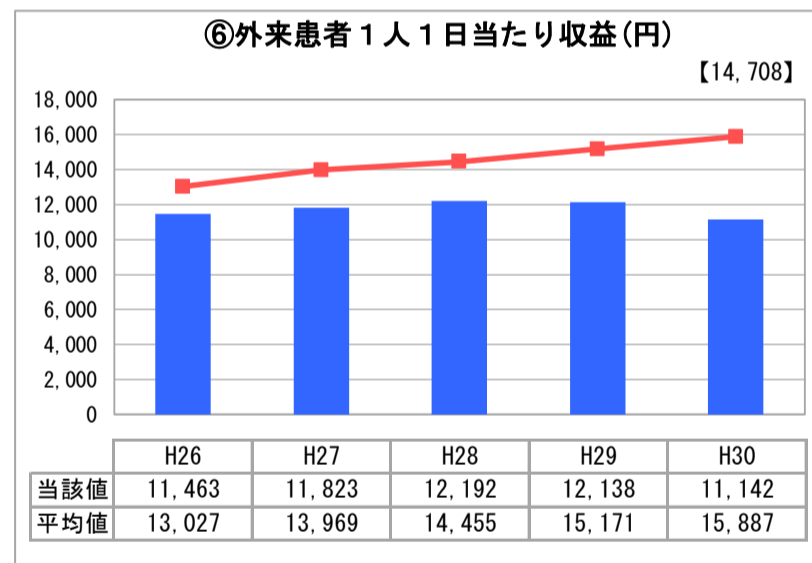
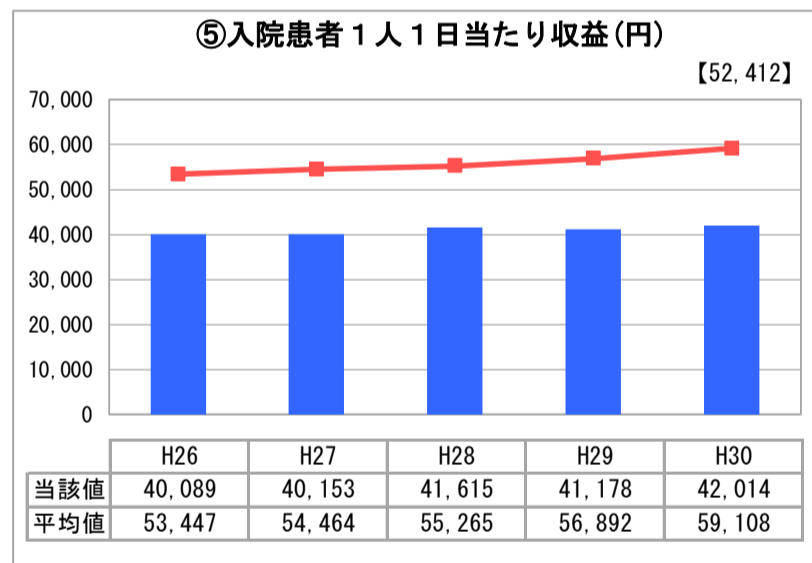
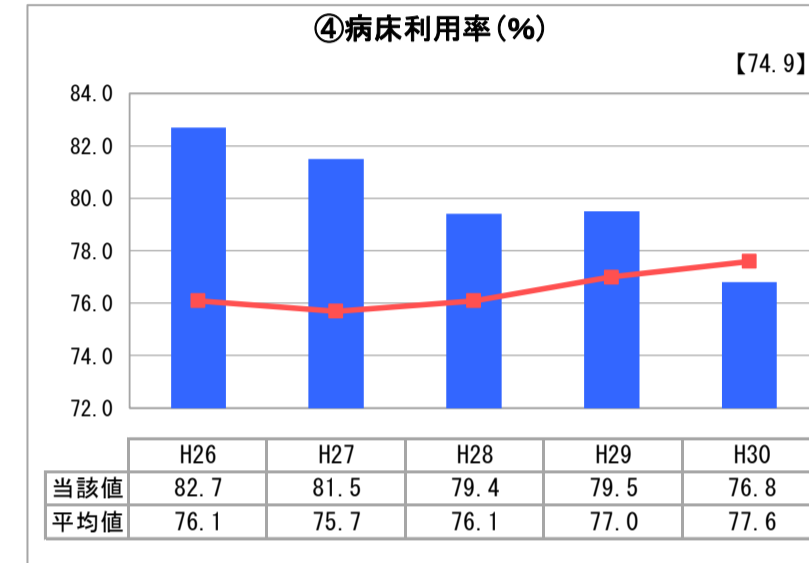
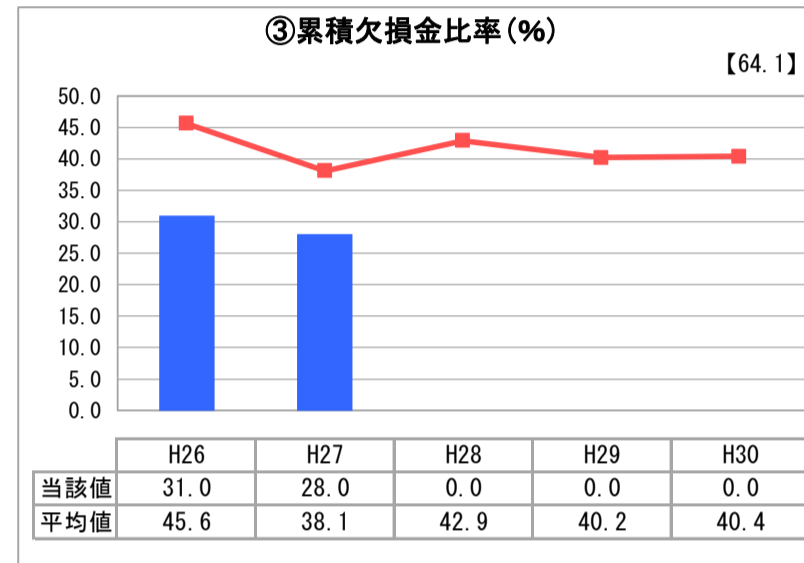
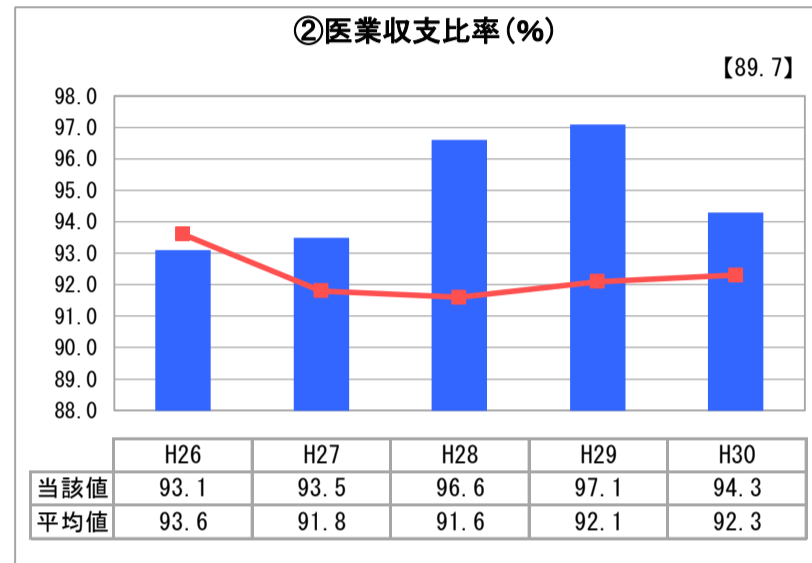
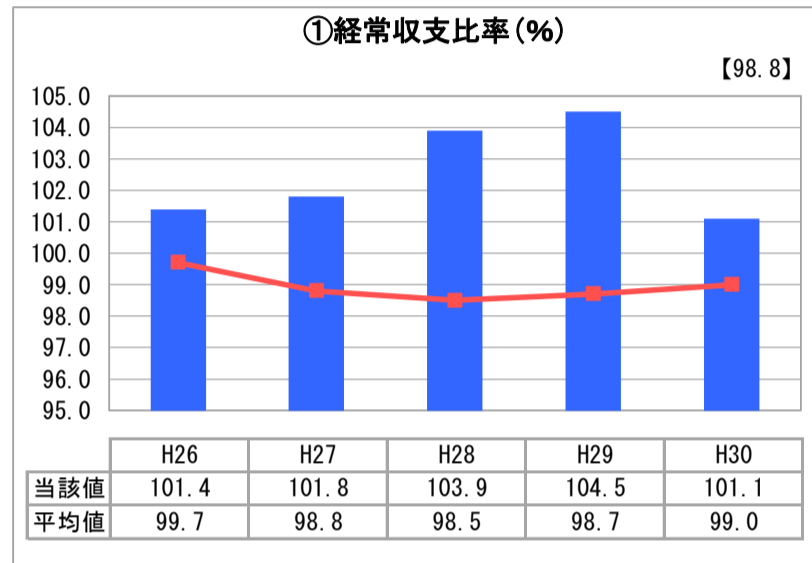
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

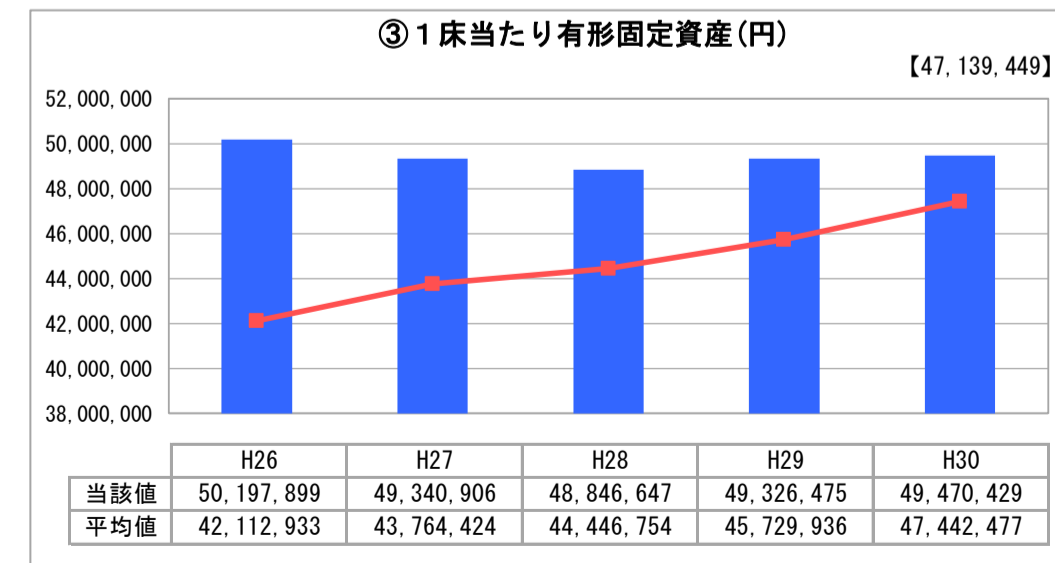
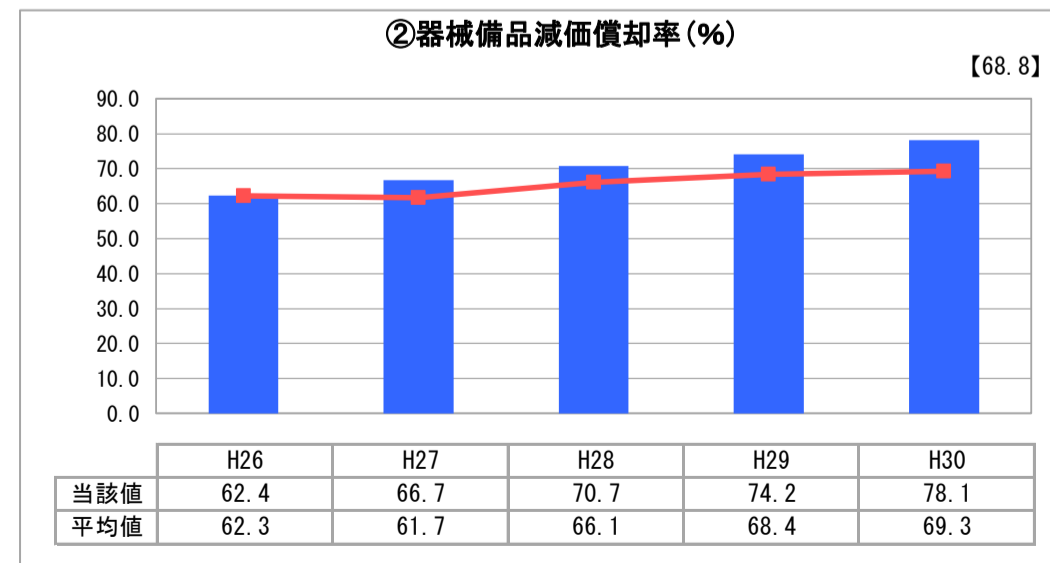
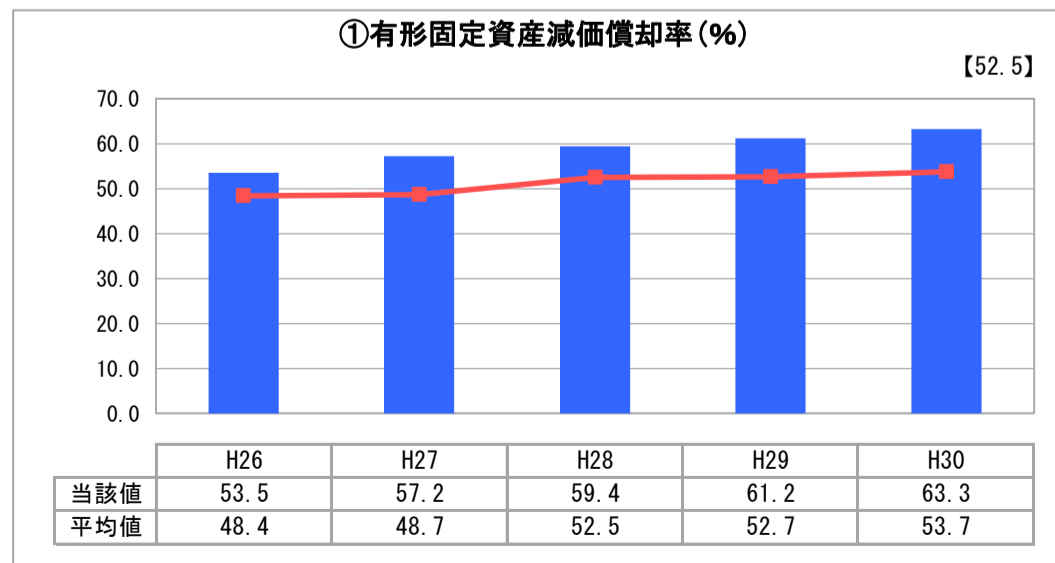
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
330	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	4	434
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
330	-	330

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割

能登中部医療圏の自治体病院としての役割を果たすため下記の事項に取り組んでいる。

- ・高度専門医療や救急医療への取り組み
- ・回復期医療への取り組み
- ・政策医療
- ・不採算医療への取り組み
- ・能登北部医療圏の公立病院への診療支援
- ・地域医療連携への取り組み

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成30年度は前年度末の長期勤続医師の退職等により、入院・外来患者数が減少しこれに伴う病床利用率の減少などから前年度比で大幅な減収となった。費用においては、患者数の減少や院外処方増加により薬品費が抑えられたことで、経常収支比率、医業収支比率ともに減少したものの、経常収支比率は100%以上を維持できている。

医業収益の減少や非常勤医師の増加などにより、職員給与費対医業収益比率は昨年度に続き増加傾向にある。類似病院の平均と比べても高い数値となっており、増収対策や適正な職員配置の検討など、更なる経営効率向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

現在の病院施設は平成11年度に完成したもので施設の経年化が進んでいる状態である。今後、施設機能等を維持するため、高額な建物設備等の更新及び修繕を計画的に行う必要がある。

器械備品減価償却率は類似団体の平均を上回っており、経年比較においても上昇傾向であるため、更新整備が遅れている状況にある。このことから、限られた財源を有効に活用するため、更新が必要な機器を精査しながら更新整備を進めて行く。

全体総括

能登中部医療圏の自治体病院としての役割を継続して果たしていくためには、病院事業の健全経営を続けることが必要である。能登地域における少子高齢化や都市圏への人口流出など、年々患者数が減少していく中、診療報酬改定や地域の医療ニーズに適切に対応し収益を確保するとともに、地域における医師不足対策を継続しつつ人員配置適正化の検討により給与費の適正化を目指す等、引き続き経営健全化の取り組みを継続していく。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。